

2019年度

名古屋外国語大学大学院

博士前期課程・博士後期課程

学生募集要項

名古屋外国語大学

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

2019年度 博士前期課程 学生募集要項	1
I 学生募集要項	2
II 受験についての諸注意	7
III 学 費	10
2019年度 博士前期課程 学生募集要項（外国人留学生）	11
I 学生募集要項	12
II 受験についての諸注意	17
III 学 費	20
2019年度 博士後期課程 学生募集要項（外国人留学生を含む）	21
I 学生募集要項	22
II 受験についての諸注意	26
III 学 費	29
参考資料	31

出願提出用所定用紙（博士後期課程・博士前期課程共通）

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1. 入学志願票 | [所定用紙A] |
| 2. 受験票・写真票・座席票・入学検定料振込証明書貼付票 | [所定用紙B] |
| 3. 研究計画書 | [所定用紙C-1, C-2] |
| 4. 身元保証書 | [所定用紙D] |
| 5. 留学・就学に係る経費負担計画書 | [所定用紙E] |

事前審査・個別審査申請用所定用紙（博士後期課程・博士前期課程共通）

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 事前審査・個別審査申請書 | [所定用紙F] |
| 2. 経歴書 | [所定用紙G] |
| 3. 個別審査出願理由書 | [所定用紙H] |

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

国際コミュニケーション研究科では、学園の建学の精神である「人間教育と実学」に立ち、言語を中心にすえて、国際理解に必要な知識・技能を総合的に研究・教授する機関として、研究者養成とともに、現代国際社会で活躍する高度な専門知識を持った職業人の育成を目的としています。

【博士前期課程】

博士前期課程では、外国語や日本語の運用能力、専門分野の基礎的な知識、研究能力の基礎とともに、研究意欲を持ち、研究者、高度専門職業人を目指し、広い視野に立って研究をとおして国際社会で貢献しようとする人を求めます。

【博士後期課程】

博士後期課程では、外国語や日本語の高度な運用能力、専門分野の高度な知識とともに、高い目標意識、豊かな研究能力、強い研究意欲を持ち、教育や研究で指導的立場に立ち、世界を相手に活躍できる研究者、高度専門職業人を目指し、研究をとおして国際社会で十分に貢献しようとする人を求めます。

個人情報の取り扱いについて

名古屋外国語大学（以下本学）は、個人情報保護に関連する法令を遵守します。また収集した個人情報は、厳格に管理します。

・利用目的について

出願にあたって提出された氏名、住所その他の個人情報は、本学において、①出願・選考・入学手続、②学事に関する管理、連絡および手続、③学生生活全般に関する管理、連絡および手続、④学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、⑤本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡、⑥個人を特定しない形式での統計資料作成と、これらに付随する事項を行うために利用します。

・第三者への個人情報の提供について

取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。ただし、個人情報の保護に関する法律の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

<問い合わせ先>

名古屋外国語大学 大学院事務室

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57

Tel: 0561-74-1111 (代表) Fax: 0561-75-1740

URL: <http://www.nufs.ac.jp/>

2019年度
博士前期課程
学生募集要項

I 学生募集要項

1. 募集研究科・専攻・課程、コース、募集人員

研究科	専攻	課程	コース	募集人員
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	博士前期課程	◆英語コミュニケーションコース ◆フランス語コミュニケーションコース ◆中国語コミュニケーションコース ◆日本語コミュニケーションコース ◆国際関係コース ◆国際ビジネスコース ◆グローバル共生コース ・多言語多文化マネジメントプログラム ・公益通訳翻訳プログラム	20名

※ 募集人員は、一般入試Ⅰ期／Ⅱ期、学内推薦入試、社会人特別入試、英語教授法(TESOL)コース入試、外国人留学生特別選抜、外国人留学生特別推薦入試の募集人員を含む。

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者または2019年3月31日までに該当見込みの者

- ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 外国において学校教育における15年の課程を修了した者または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者 【要事前審査】
- ⑨ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者 【要事前審査】
- ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により大学に3年以上在学し他の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑪ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの 【要個別審査】

3. 事前審査・個別審査

(1) 事前審査・個別審査の申請

【事前審査】

出願資格⑧または⑨により出願する者は、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認める事前審査の申請を次のとおり行うこと

〔提出書類〕

- ① 事前審査申請書 【所定用紙 F】
 - ② 経歴書 【所定用紙 G】
 - ③ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの）
 - ④ 最終学校の学業成績証明書
 - ⑤ 在職証明書
- ※職歴のある者、在職中の者は提出すること

上記①～⑤までの書類等を取りまとめ、封書にて、期日までに大学院事務室へ申し込むこと

※ 封筒の形、大きさは特に定めないが、必ず表に朱書きで「事前審査申請書類在中」と記載することとし、出願用封筒では送付しないこと

〔申請期日〕

- I 期 2018年 7月 6日（金）〔郵送に限る・締切日消印有効〕
- II 期 2018年12月 3日（月）〔郵送に限る・締切日消印有効〕

【個別審査】

出願資格⑩により出願する者は、出願資格を認める個別の入学資格審査（個別審査）の申請を次のとおり行うこと

〔提出書類〕

- ① 個別審査申請書 【所定用紙 F】
 - ② 経歴書 【所定用紙 G】
 - ③ 個別審査出願理由書 【所定用紙 H】
 - ④ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの）
 - ⑤ 最終学校の学業成績証明書
 - ⑥ 在職証明書
- ※職歴のある者、在職中の者は提出すること

上記①～⑥までの書類等を取りまとめ、封書にて、期日までに大学院事務室へ申し込むこと

※ 封筒の形、大きさは特に定めないが、必ず表に朱書きで「個別審査申請書類在中」と記載することとし、出願用封筒では送付しないこと

〔申請期日〕

- I 期 2018年 7月 6日（金）〔郵送に限る・締切日消印有効〕
- II 期 2018年12月 3日（月）〔郵送に限る・締切日消印有効〕

(2) 事前審査・個別審査の結果通知

審査の結果は、次の期日以降、研究科長より本人宛に郵送で通知する

- I 期 2018年 7月26日（木）
- II 期 2018年12月20日（木）

(3) 事前審査・個別審査における選考基準

最終学校の学業成績、経歴書等を総合的に審査して決定する

4. 出願提出書類

下記の書類を、本学所定の出願用封筒に入れて、書留速達郵便で一括郵送すること

書類名	備考
①入学志願票 [所定用紙A]	
②受験票・写真票・座席票・ 入学検定料振込証明書 貼付票 [所定用紙B]	
③大学卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長が作成したもの ・短期大学または他の4年制大学等から出身大学へ転編入してきた者は、転編入前の学校の証明書も提出すること ・外国の大学を卒業した場合には、卒業証書のコピーでもよい(入学式当日に卒業証書の原本を提出のこと)
④学業成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長が作成し厳封したもの ・短期大学または他の4年制大学等から出身大学へ転編入してきた者は、転編入前の学校の証明書も提出すること
⑤研究計画書 [所定用紙C-1, C-2]	<p>次の点について 1,200 字程度にまとめたもの (参考文献の字数は含まない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①研究テーマとその研究理由 (研究対象や調査対象を含む) ②研究方法と具体的な研究手法 (文献研究、アンケート調査、インタビューなど具体的な研究の進め方) ③計画する研究(在学)期間(2年、2年半等)と論文を完成させるまでのスケジュール
⑥卒業論文等の写しおよび 要旨	大学卒業時に提出している者のみ
⑦在職証明書等	職歴のある者、在職中の者は提出すること
⑧宛名シール [所定用紙]	宛名明記

注1) 英語を除く外国語の書類は、必ず日本語の訳文を付けること

注2) 各証明書は3ヶ月以内に発行されたものでコピー不可

注3) p.2 出願資格⑧、⑨の事前審査または出願資格⑩の個別審査により、出願を認められた者は、書類③④⑦の提出は免除する

5. 出願に関する注意事項

- ① 出願書類は、いかなる理由があっても返却しない
- ② 出願書類および入学手続きの書類に虚偽があった場合、合格を取り消す

6. 入学検定料と振込方法

(1) 入学検定料

35,000円

(2) 振込方法

- ・ 本学所定の振込用紙を必ず使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）から「電信扱」で振り込むこと
- ・ 現金、為替等は一切受け付けない。また、現金自動預支払機（ATM）は利用しないこと
- ・ 三菱UFJ銀行本支店に限り、振込手数料は大学側が負担する
- ・ 検定料振込の際は、領収書・入学検定料振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること
- ・ 領収書は必ず受験票が届くまで保管しておくこと
- ・ 振り込まれた入学検定料は、いかなる理由（受験辞退）でも返還しない

7. 入学試験日等日程

(1) 出願期間（郵送に限る・締切日**必着**）

I期 2018年 8月23日（木）～ 8月31日（金）

II期 2019年 1月 4日（金）～ 1月11日（金）

(2) 試験日

I期 2018年 9月22日（土）

II期 2019年 2月15日（金）

(3) 合格発表日（受験者全員に速達・簡易書留にて通知）

I期 2018年 9月28日（金）

II期 2019年 2月22日（金）

(4) 第1次入学手続締切日（締切日振込有効）

- ・ 入学金の納付

I期 2018年10月15日（月）

II期 2019年 3月 8日（金）

(5) 第2次入学手続締切日（締切日振込有効）

- ・ 1期分の授業料および教育充実費の納付

I期 2018年11月30日（金）

II期 2019年 3月 8日（金）

(6) 納付金返還申出期日

I期・II期とも2019年 3月29日（金） 17時まで

8. 選考方法

(1) 書類審査

(2) 学力検査

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションコース：英語 ※英語を第一言語とする者の場合は、日本語を選択のこと ・中国語コミュニケーションコース：中国語 ※中国語を第一言語とする者の場合は、英語または日本語を選択のこと ・フランス語コミュニケーション、日本語コミュニケーション、国際関係、国際ビジネス、グローバル共生(多言語多文化マネジメントプログラム/公益通訳翻訳プログラム)の各コース： 英語・フランス語・中国語・日本語より1言語選択(第一言語を除く) <p>※出願時届出制</p>	90分 100点	辞書持込可 (ただし電子辞書を除く)
専門科目	専門分野に関する試問	90分 100点	日本語による解答

(3) 口頭試問

※ 研究計画書に基づく試問および必要とする外国語を含む専門分野についての試問を含む

9. 試験会場

名古屋外国語大学(愛知県日進市岩崎町竹ノ山57)

10. 入学手続納付金

(1) 第1次入学手続納付金

入学金 100,000円

※名古屋外国語大学卒業生および本学学部研究生、本大学院修了生および本大学院研究生として在学した者は、入学金を免除する

(2) 第2次入学手続納付金(2018年度入学者実績)

授業料(1期分) 382,500円

教育充実費(1期分) 95,000円

合計 477,500円

(3) 納入方法

- ・入学手続締切日までに本学所定の振込用紙にて銀行等金融機関(ゆうちょ銀行不可)より納入すること
- ・第1次入学手続期間中に、第2次入学手続納付金を納入することができる
- ・入学手続納付金振込の際は、領収書および入学手続納付金振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること

(4) その他

- ・第2次入学手続納付金納入後、一両日中に第1次/第2次入学手続納付金振込証明書を本学大学院事務室に郵送すること

11. 入学辞退に伴う納付金一部返還

入学手続を完了した者で、入学手続納付金返還申出締切日までに入学辞退を届け出た者については、入学金を除いた学費(授業料、教育充実費)を返還する

II 受験についての諸注意

1. 試験日日程

9時00分～	9時45分	試験室入室
9時45分～	10時00分	諸連絡
10時00分～	11時30分	外国語
11時30分～	12時20分	昼食
12時20分～	13時50分	専門科目
13時50分～	14時00分	諸連絡
14時00分～		口頭試問

2. 試験会場への交通機関

(1) 試験会場への交通機関

●交通案内図

●付近図

(2) 専用バス

- ・入学試験日当日は、地下鉄東山線「上社」駅および地下鉄鶴舞線「赤池」駅から大学専用バスを下表のとおり運行する
尚、当日の専用バスは受験票を提示することにより、無料で利用できる
ただし、途中乗車はできない
- ・受験生用専用バス時刻表

① 地下鉄東山線「上社」駅 ② 地下鉄鶴舞線「赤池」駅

「上社」発車時刻	
時	分
8	00より10分間隔
9	00 10 20

「赤池」発車時刻	
時	分
8	20 40
9	00 20

- ・専用バス乗場
- ① 地下鉄東山線「上社」駅

北側バスターミナル
1 番乗車場

- ② 地下鉄鶴舞線「赤池」駅

1 番出入口北西側
中西学園専用バス乗車場

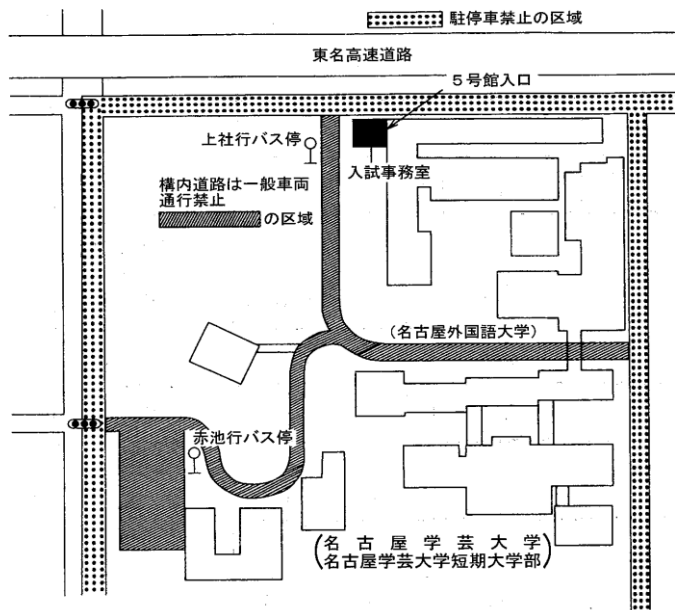
(3) その他

- ・帰宅用の大学発「上社」駅および「赤池」駅行の専用バスの発車時刻および乗車場所は、入学試験日当日に連絡する

3. 試験会場への入退場

- ・試験会場は午前9時に開場する
- ・試験は午前10時に開始するので、午前9時45分までに試験室に入室すること
- ・試験開始15分前に、受験生の出席確認、顔写真の照合を行う
- ・遅刻は試験開始後30分まで認めるが、試験時間の延長は認めない
- ・試験時間途中の退室は原則として認めない
- ・休憩時間および昼食時間に構外へは出ないこと

4. 試験会場案内図



5. その他

- ・ 受験票の未着、忘失の場合は、入学試験日当日に入試事務室にて仮受験票の発行を受けること
- ・ 受験票は監督が見やすいように、座席票の下に置くこと
- ・ 試験中の耳栓の使用は認めない
- ・ 試験会場内は禁煙である
- ・ 試験時間、口頭試問時および口頭試問待機時は、必ず携帯電話・PHS等の電源を切ること
- ・ **入学試験日当日は、昼食を持参すること**

Ⅲ 学 費

1. 学 費（2018年度入学者実績）

この学費は2018年度入学者実績によるもので、2019年度入学者に対する費用は、合格者に送付する「入学手続きにあたって」で連絡する

1年次

(単位：円)

納 入 期	費 用			
	入 学 金	授 業 料	教育充実費	合 計
1 期	100,000	382,500	95,000	577,500
2 期		382,500	95,000	477,500
合 計	100,000	765,000	190,000	1,055,000

2年次

(単位：円)

納 入 期	費 用		
	授 業 料	教育充実費	合 計
1 期	382,500	95,000	477,500
2 期	382,500	95,000	477,500
合 計	765,000	190,000	955,000

※入学金については、名古屋外国語大学卒業生および本学学部研究生、本大学院修了生および本大学院研究生として在学した者は免除する

2. 納入方法

- ・入学金は第1次入学手続き時に、また、1年次1期分の授業料と教育充実費は第2次入学手続き時に、それぞれ本学指定振込用紙を使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）より振込にて納入すること
- ・本学では、1年次2期以降の学費はすべて三菱UFJ銀行またはゆうちょ銀行からの引き落とし扱い（キャッシュレスシステム）であるため、入学手続き以降に三菱UFJ銀行またはゆうちょ銀行の口座を開設すること（既に口座のある場合は必要ない）
- ・キャッシュレスシステムの指定口座等の手続については、入学手続き以降に連絡する
- ・引き落とし期日
2年次1期 4月 1日
1・2年次2期 9月16日
(ただし、金融機関が休業日の場合は、翌営業日の引き落としとなる)

3. 専用バス

- ・本学では、バス会社が運行する上社および赤池駅と大学間を結ぶ路線バスを大学の専用バスとして利用している
- ・専用バスの料金は、片道200円となる
- ・料金はバス会社の委託を受け、前述のキャッシュレスシステムを利用し、翌月徴収となる
- ・試験会場の下見および試験当日など入学前の来学時に専用バスを利用する場合は、付添者を含め無料となる

2019年度
博士前期課程
学生募集要項
(外国人留学生)

(本学生募集要項は、外国籍志願者も対象とします。)

I 学生募集要項

1. 募集研究科・専攻・課程、コース、募集人員

研究科	専攻	課程	コース	募集人員
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	博士前期課程	◆英語コミュニケーションコース ◆フランス語コミュニケーションコース ◆中国語コミュニケーションコース ◆日本語コミュニケーションコース ◆国際関係コース ◆国際ビジネスコース ◆グローバル共生コース ・多言語多文化マネジメントプログラム ・公益通訳翻訳プログラム	若干名

2. 出願資格

- ・ 日本の国籍を有しない者
- ・ 出入国管理及び難民認定法において、本学大学院への入学に支障のない在留資格（「留学」など）を確実に取得できる者
- ・ 公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金または公益財団法人交流協会が実施する「日本語能力試験（N1）」に合格した者またはそれと同等の日本語能力のある者

上記の要件をすべて満たし、次の各項のいずれかに該当する者または2019年3月31日までに該当見込みの者

- ① 外国人留学生として、学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- ② 外国人留学生として、学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国人就学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 外国において学校教育における15年の課程を修了した者または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者 【要事前審査】
- ⑨ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者 【要事前審査】
- ⑩ 外国人留学生として、学校教育法第102条第2項の規定により大学に3年以上在学し他の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑪ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの 【要個別審査】

3. 事前審査・個別審査

(1) 事前審査・個別審査の申請

【事前審査】

出願資格⑧または⑨により出願する者は、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認める事前審査の申請を次のとおり行うこと

〔提出書類〕

- ① 事前審査申請書 [所定用紙 F]
 - ② 経歴書 [所定用紙 G]
 - ③ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの）
 - ④ 最終学校の学業成績証明書
 - ⑤ 在職証明書 ※職歴のある者、在職中の者は提出すること
 - ⑥ 日本語能力試験（N1）の証明書 [出願提出書類 ⑩]
- ※p.15 出願提出書類の注1）～注4）参照のこと

上記①～⑥までの書類等を取りまとめ、封書にて、期日までに大学院事務室へ申し込むこと

※ 封筒の形、大きさは特に定めないが、必ず表に朱書きで「事前審査申請書類在中」と記載することとし、出願用封筒では送付しないこと

【個別審査】

出願資格⑩により出願する者は、出願資格を認める個別の入学資格審査（個別審査）の申請を次のとおり行うこと

〔提出書類〕

- ① 個別審査申請書 [所定用紙 F]
 - ② 経歴書 [所定用紙 G]
 - ③ 個別審査出願理由書 [所定用紙 H]
 - ④ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの）
 - ⑤ 最終学校の学業成績証明書
 - ⑥ 在職証明書 ※職歴のある者、在職中の者は提出すること
 - ⑦ 日本語能力試験（N1）の証明書 [出願提出書類 ⑩]
- ※p.15 出願提出書類の注1）～注4）参照のこと

上記①～⑦までの書類等を取りまとめ、封書にて、期日までに大学院事務室へ申し込むこと

※ 封筒の形、大きさは特に定めないが、必ず表に朱書きで「個別審査申請書類在中」と記載することとし、出願用封筒では送付しないこと

(2) 事前審査・個別審査の申請期日

- I 期 2018年 7月 6日（金）〔郵送に限る・締切日消印有効〕
- II 期 2018年12月 3日（月）〔郵送に限る・締切日消印有効〕

(3) 事前審査・個別審査の結果通知

審査の結果は、次の期日以降、研究科長より本人宛に郵送で通知する

- I 期 2018年 7月26日（木）
- II 期 2018年12月20日（木）

(4) 事前審査・個別審査における選考基準

最終学校の学業成績、経歴書等を総合的に審査して決定する

4. 出願提出書類

書 類 名	備 考
①入学志願票 【所定用紙A】	
②受験票・写真票・座席票・入学検定料振込証明書貼付票 【所定用紙B】	
③卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長が作成したもの ・短期大学または他の4年制大学等から出身大学へ転編入してきた者は、転編入前の学校の証明書も提出すること ・外国の大学を卒業した場合には、卒業証書のコピーでもよい(入学式当日に卒業証書の原本を提出のこと)
④学業成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学長が作成し厳封したもの ・短期大学または他の4年制大学等から出身大学へ転編入してきた者は、転編入前の学校の証明書も提出すること
⑤研究計画書 【所定用紙C-1, C-2】	<p>次の点について 1,200 字程度にまとめたもの(参考文献の字数を含まない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①研究テーマとその研究理由(研究対象や調査対象を含む) ②研究方法と具体的な研究手法(文献研究、アンケート調査、インタビューなど具体的な研究の進め方) ③計画する研究(在学)期間(2年、2年半等)と論文を完成させるまでのスケジュール
⑥(a)「在留カード」の両面コピー または市区町村発行の「住民票の写し」(原本) ^{*1} (b)パスポートのコピー ^{*2}	<p>(a) 日本国内に居住する者 ※1 国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの</p> <p>(b) 海外居住者および短期滞在者 ※2 氏名、国籍、番号、写真、生年月日が記載されているページのコピー</p>
⑦身元保証書 【所定用紙D】	保証人は日本に居住し、独立して生計を営んでいる者で、在学期間中の本人に関するすべての事項について保証できるもの
⑧留学・就学に係る経費負担計画書 【所定用紙E】	本学在学中に必要な学費・生活費等の経費および当該経費を支弁する原資について記載したもの
⑨学費・生活費等支払い能力を証明する書類 (①、②、③全ての書類)	<p>(a) 志願者が学費・生活費を支弁する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ①志願者名義の銀行等における預貯金残高証明書^{*1} ②預金通帳の写し等当該預金の最近1年間以上の入出金の経緯が明らかになる書類(2年分がのぞましい) ③その資金形成に至る収入に関する資料(納税証明書等、年ごとに証明できる書類で2年分がのぞましい) <p>(b) 本国からの送金により学費・生活費を支弁する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ①送金者名義の預貯金残高証明書^{*1} ②送金者名義の預金通帳の写し等当該預金の最近1年間以上の入出金の経緯が明らかになる書類(2年分がのぞましい) ③送金者の在職証明書(収入と在職期間を明らかにする資料) <p>(c) 志願者以外の日本に居住する者が経費を支弁する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ①経費支弁者名義の預貯金残高証明書^{*1} ②経費支弁者名義の預金通帳の写し等当該預金の最近1年以上の入出金の経緯が明らかになる書類(2年分がのぞましい) ③経費支弁者の課税証明書(総所得額が記載されたもの) <p>※1 最低残高: 初年度納入学費相当額 ※2 学費・生活費、預金残高の目安は 31 ページ参照</p>
⑩日本語能力試験(N1)の証明書: 以下のいずれか ・「日本語能力認定書」と「合格通知書」のコピー ・「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」 ※備考 i), ii)参照のこと	<p>i) 独立行政法人国際交流基金が発行するものを申請して提出のこと Tel: 03-5367-1021 Fax: 03-5367-1025</p> <p>ii) ただし、日本国内で受験した者は、公益財団法人日本国際教育支援協会が発行するものを申請して提出のこと Tel: 03-6686-2974 Fax: 03-6845-2544</p> <p>i), ii) とも http://www.jlpt.jp/「証明書の発行」</p>
⑪卒業論文等のコピーおよび要旨	大学卒業時に提出している者のみ
⑫在職証明書等	職歴のある者は、職歴を証明する書類を提出
⑬宛名シール 【所定用紙】	宛名明記

- 注1) 英語を除く外国語の書類は、必ず日本語の訳文を付けること
注2) 各証明書は3ヶ月以内に発行されたものでコピー不可
注3) 3.の事前審査・個別審査により出願を認められた者は、書類③④⑩⑫の提出は免除する
注4) 出願書類は、いかなる理由があっても返却しない。また、虚偽があった場合、合格を取り消す

5. 入学検定料と振込方法

(1) 入学検定料

35,000円

(2) 振込方法

- ・本学所定の振込用紙を必ず使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）から「電信扱」で振り込むこと
- ・現金、為替等は一切受け付けない。また、現金自動預支払機（ATM）は利用しないこと
- ・三菱UFJ銀行本支店に限り、振込手数料は大学側が負担する
- ・検定料振込の際は、領収書・入学検定料振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること
- ・領収書は必ず受験票が届くまで保管しておくこと
- ・振り込まれた入学検定料は、いかなる理由（受験辞退）でも返還しない

※ 海外からの受験者は、振込金額、振込方法について事前に大学院事務室へ確認すること（injimu_gg@nufs.ac.jp）

6. 入学試験日等日程

(1) 出願期間（郵送に限る・締切日**必着**）

I期 2018年 8月23日（木）～ 8月31日（金）

II期 2019年 1月 4日（金）～ 1月11日（金）

※ 海外から送付する場合は、**EMS**にて郵送すること

(2) 試験日

I期 2018年 9月22日（土）

II期 2019年 2月15日（金）

(3) 合格発表日（受験者全員に速達・簡易書留にて通知）

I期 2018年 9月28日（金）

II期 2019年 2月22日（金）

(4) 第1次入学手続締切日（締切日振込有効）

- ・入学金の納付

I期 2018年10月15日（月）

II期 2019年 3月 8日（金）

(5) 第2次入学手続締切日（締切日振込有効）

- ・1期分の授業料および教育充実費の納付

I期 2018年11月30日（金）

II期 2019年 3月 8日（金）

(6) 納付金返還申出期日

I期・II期とも2019年 3月29日（金） 17時まで

7. 選考方法

(1) 書類審査

(2) 学力検査

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションコース：英語 ※英語を第一言語とする者の場合は、日本語を選択のこと ・中国語コミュニケーションコース：中国語 ※中国語を第一言語とする者の場合は、英語または日本語を選択のこと ・フランス語コミュニケーション、日本語コミュニケーション、国際関係、国際ビジネス、グローバル共生(多言語多文化マネジメントプログラム/公益通訳翻訳プログラム)の各コース： 英語・フランス語・中国語・日本語より1言語選択(第一言語を除く) <p>※出願時届出制</p>	90分 100点	辞書持込可 (ただし電子辞書を除く)
専門科目	専門分野に関する試問	90分 100点	日本語による解答

(3) 口頭試問

※ 研究計画書に基づく試問および必要とする外国語を含む専門分野についての試問を含む

8. 試験会場

名古屋外国語大学(愛知県日進市岩崎町竹ノ山57)

9. 入学手続納付金

(1) 第1次入学手続納付金

入学金 100,000円

※名古屋外国語大学卒業生および本学学部研究生、本学大学院修了生および本学大学院研究生として在学した者は、入学金を免除する

(2) 第2次入学手続納付金(2018年度入学者実績)

授業料(1期分) 267,750円

教育充実費(1期分) 95,000円

合計 362,750円

(3) 納入方法

- ・入学手続締切日までに本学所定の振込用紙にて銀行等金融機関(ゆうちょ銀行不可)より納入すること
- ・第1次入学手続期間中に、第2次入学手続納付金を納入することができる
- ・入学手続納付金振込の際は、領収書および入学手続納付金振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること

(4) その他

- ・第2次入学手続納付金納入後、一両日中に第1次/第2次入学手続納付金振込証明書を本学大学院事務室に郵送すること

10. 入学辞退に伴う納付金一部返還

入学手続を完了した者で、入学手続納付金返還申出締切日までに入学辞退を届け出た者については、入学金を除いた学費(授業料、教育充実費)を返還する

II 受験についての諸注意

1. 試験日日程

9時00分～	9時45分	試験室入室
9時45分～	10時00分	諸連絡
10時00分～	11時30分	外国語
11時30分～	12時20分	昼食
12時20分～	13時50分	専門科目
13時50分～	14時00分	諸連絡
14時00分～		口頭試問

2. 試験会場への交通機関

(1) 試験会場への交通機関

●交通案内図

●付近図

(2) 専用バス

- ・入学試験日当日は、地下鉄東山線「上社」駅および地下鉄鶴舞線「赤池」駅から大学専用バスを下表のとおり運行する

尚、当日の専用バスは受験票を提示することにより、無料で利用できる

ただし、途中乗車はできない

- ・受験生用専用バス時刻表

① 地下鉄東山線「上社」駅
駅

② 地下鉄鶴舞線「赤池」

「上社」発車時刻	
時	分
8	00より10分間隔
9	00 10 20

「赤池」発車時刻	
時	分
8	20 40
9	00 20

- ・専用バス乗場
- ① 地下鉄東山線「上社」駅

北側バスターミナル
1 番乗車場

- ② 地下鉄鶴舞線「赤池」駅

1 番出入口北西側
中西学園専用バス乗車場

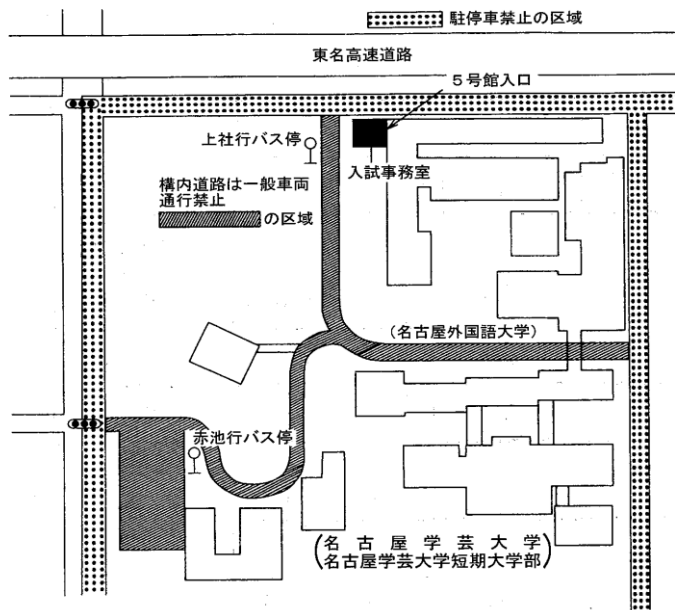
(3) その他

- ・帰宅用の大学発「上社」駅および「赤池」駅行の専用バスの発車時刻および乗車場所は、入学試験日当日に連絡する

3. 試験会場への入退場

- ・試験会場は午前9時に開門する
- ・試験は午前10時に開始するので、午前9時45分までに試験室に入室すること
- ・試験開始15分前に、受験生の出席確認、顔写真の照合を行う
- ・遅刻は試験開始後30分まで認めるが、試験時間の延長は認めない
- ・試験時間途中の退室は原則として認めない
- ・休憩時間および昼食時間に構外へは出ないこと

4. 試験会場案内図



5. その他

- ・ 受験票の未着、忘失の場合は、入学試験日当日に入試事務室にて仮受験票の発行を受けること
- ・ 受験票は監督が見やすいように、座席票の下に置くこと
- ・ 試験中の耳栓の使用は認めない
- ・ 試験会場内は禁煙である
- ・ 試験時間、口頭試問時および口頭試問待機時は、必ず携帯電話・PHS等の電源を切ること
- ・ **入学試験日当日は、屋食を持参すること**

Ⅲ 学 費

1. 学 費（2018年度入学者実績）

この学費は2018年度入学者実績によるもので、2019年度入学者に対する費用は、合格者に送付する「入学手続きにあたって」で連絡する

1年次

(単位：円)

納 入 期	費 用			
	入 学 金	授 業 料	教育充実費	合 計
1 期	100,000	267,750	95,000	462,750
2 期		267,750	95,000	362,750
合 計	100,000	535,500	190,000	825,500

2年次

(単位：円)

納 入 期	費 用		
	授 業 料	教育充実費	合 計
1 期	267,750	95,000	362,750
2 期	267,750	95,000	362,750
合 計	535,500	190,000	725,500

※入学金については、名古屋外国語大学卒業生および本学学部研究生、本大学院研究生および本大学院研究生として在学した者は免除する

※授業料は、本学「私費外国人留学生の授業料減免に関する規程」により、授業料減免申請書を提出し、認められた場合の30%減免された金額

2. 納入方法

- ・ 入学金は第1次入学手続き時に、また、1年次1期分の授業料と教育充実費は第2次入学手続き時に、それぞれ本学指定振込用紙を使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）より振込にて納入すること
- ・ 本学では、1年次2期以降の学費はすべて三菱UFJ銀行またはゆうちょ銀行からの引き落とし扱い（キャッシュレスシステム）であるため、入学手続き以降に三菱UFJ銀行またはゆうちょ銀行の口座を開設すること（既に口座のある場合は必要ない）
- ・ キャッシュレスシステムの指定口座等の手続については、入学手続き以降に連絡する
- ・ 引き落とし期日
2年次1期 4月 1日
1・2年次2期 9月16日
(ただし、金融機関が休業日の場合は、翌営業日の引き落としとなる)

3. 専用バス

- ・ 本学では、バス会社が運行する上社および赤池駅と大学間を結ぶ路線バスを大学の専用バスとして利用している
- ・ 専用バスの料金は、片道200円となる
- ・ 料金はバス会社の委託を受け、前述のキャッシュレスシステムを利用し、翌月徴収となる
- ・ 試験会場の下見および試験当日など入学前の来学時に専用バスを利用する場合は、付添者を含め無料となる

2019年度
博士後期課程
学生募集要項
(外国人留学生を含む)

(本学生募集要項は、外国籍志願者も対象とします。)

I 学生募集要項

1. 募集研究科・専攻・課程、分野、募集人員

研究科	専攻	課程	分野	募集人員
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	博士後期課程	英語学・英語教育学分野 日本語学・日本語教育学分野 国際文化分野	5名

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者または2019年3月31日までに該当見込みの者

- ① 修士の学位または専門職学位を有する者
- ② 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

※ 出願資格⑥により出願する者は、出願資格を認める個別の入学資格審査（個別審査）の申請を次のとおり行うこと

3. 個別審査

(1) 申請

[提出書類]

- ① 個別審査申請書 **[所定用紙F]**
- ② 経歴書 **[所定用紙G]**
- ③ 出願理由書 **[所定用紙H]**
- ④ 最終学校の卒業（修了）証明書（生年月日記載のもの）
- ⑤ 最終学校の学業成績証明書
- ⑥ 在職証明書
※ 職歴のある者、在職中の者は提出すること
- ⑦ 研究業績一覧
- ⑧ 主要論文（修士学位論文に代わるもの）の写しおよび要旨（2,000字以内）各4部（それぞれクリップで止めること）

上記①～⑧までの書類等を取りまとめ、封書にて、期日までに大学院事務室へ申し込むこと

※ 封筒の表に朱書きで「個別審査申請書類在中」と記載し、出願用封筒では送付しないこと

[申請期日]

2018年11月16日（金）[郵送に限る・締切日消印有効]

(2) 個別審査の結果通知

個別審査の結果は、下記期日以降、研究科長より本人宛に郵送で通知する

2018年12月20日（木）

(3) 個別審査における選考基準

最終学校の学業成績、経歴書および出願理由書等を総合的に審査して決定する

4. 出願提出書類

下記の書類を任意の封筒に入れ、封筒の表に「大学院出願書類在中」と明記のうえ、書留速達郵便で一括郵送すること(送付先:本要項の裏表紙に記載)

書類名	備考
①入学志願票 【所定用紙A】	
②受験票・写真票・座席票・入学検定料振込証明書貼付票 【所定用紙B】	
③修士の学位取得(見込)証明書	出身大学長が作成したもの
④学業成績証明書	・出身大学長が作成し厳封したもの ・大学院博士前期(修士)課程におけるもの
⑤研究計画書 【所定用紙C-1, C-2】	次の点について1,200字程度にまとめたもの(参考文献の字数は含まない) ①研究テーマとその研究理由(研究対象や調査対象を含む) ②研究方法と具体的な研究手法(文献研究、アンケート調査、インタビューなど具体的な研究の進め方) ③計画する研究(在学)期間(3年、4年等)と論文を完成させるまでのスケジュール
⑥修士学位論文	修士学位論文または修士学位論文に相当する論文のコピーおよび要旨(2,000字以内) 各4部(それぞれクリップで止めること) ※ 修士学位論文以外の業績(論文)を持っている場合は、その抜き刷り またはそのコピーおよび要旨(2,000字以内)も各4部、クリップで止めて提出すること ※ 修士学位論文が出願締切日までに完成していない場合(在籍大学へ提出前の場合等)、本学大学院事務室へ必ず連絡すること。
⑦職証明書等	職歴のある者、在職中の者は提出すること
⑧宛名シール 【所定用紙】	宛名明記

注1) 外国人留学生は、①～⑧の提出書類の他に次の⑨～⑫の書類を提出すること

注2) 3.の個別審査により、出願を認められた者は、書類③④⑥⑦の提出は免除する

書類名	備考
⑨(a)「在留カード」の両面コピー または市区町村発行の「住民票の写し」(原本) ^{*1} (b)パスポートのコピー ^{*2}	(a) 日本国内に居住する者 ※1 国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの (b) 海外居住者および短期滞在者 ※2 氏名、国籍、番号、写真、生年月日が記載されているページのコピー
⑩身元保証書 【所定用紙D】	保証人は日本に居住し、独立して生計を営んでいる者で、在学期間中の本人に関するすべての事項について保証できるもの
⑪留学・就学に係る経費負担計画書 【所定用紙E】	本学在学中に必要な学費・生活費等の経費および当該経費を支弁する原資について記載したもの
⑫学費・生活費等支払い能力を証明する書類 (①～③全ての書類)	(a) 志願者が学費・生活費を支弁する場合 ①志願者名義の銀行等における預貯金残高証明書 ^{*1} ②預金通帳の写し等当該預金の最近1年間以上の入出金の経緯が明らかになる書類(2年分がのぞましい) ③その資金形成に至る収入に関する資料(納税証明書等、年ごとに証明できる書類で2年分がのぞましい) (b) 本国からの送金により学費・生活費を支弁する場合 ①送金者名義の預貯金残高証明書 ^{*1} ②送金者名義の預金通帳の写し等当該預金の最近1年間以上の入出金の経緯が明らかになる書類(2年分がのぞましい) ③送金者の在職証明書(収入と在職期間を明らかにする資料) (c) 志願者以外の日本に居住する者が経費を支弁する場合 ①経費支弁者名義の預貯金残高証明書 ^{*1} ②経費支弁者名義の預金通帳の写し等当該預金の最近1年以上の入出金の経緯が明らかになる書類(2年分がのぞましい) ③経費支弁者の課税証明書(総所得額が記載されたもの) ※1 最低残高:初年度納入学費相当額 ※2 学費・生活費、預金残高の目安は 31 ページ 参照

注3) 英語を除く外国語の書類は、必ず日本語の訳文を付けること

注4) 各証明書は3ヶ月以内に発行されたものでコピー不可

5. 入学検定料と振込方法

(1) 入学検定料

35,000円

本学大学院博士前期課程から後期課程への進学者は、15,000円

(2) 振込方法

- ・本学所定の振込用紙を必ず使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）から「電信扱」で振り込むこと
- ・現金、為替等は一切受け付けない。また、現金自動預支払機（ATM）は利用しないこと
- ・三菱UFJ銀行本支店に限り、振込手数料は大学側が負担する
- ・検定料振込の際は、領収書・入学検定料振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること
- ・領収書は必ず受験票が届くまで保管しておくこと
- ・振り込まれた入学検定料は、いかなる理由（受験辞退）でも返還しない

※ 海外からの受験者は、振込金額、振込方法について事前に大学院事務室へ確認すること（injimu_gg@nufs.ac.jp）

6. 入学試験日等日程

(1) 出願期間（郵送に限る・締切日**必着**）

2019年 1月 4日（金）～ 1月11日（金）

※ 海外から送付する場合は、**EMS**にて郵送すること

(2) 試験日

2019年 2月15日（金）

(3) 合格発表日（受験者全員に速達・簡易書留にて通知）

2019年 2月22日（金）

(4) 入学手続締切日（締切日振込有効）

- ・第1次入学手続および第2次入学手続とも

2019年 3月 8日（金）

(5) 入学手続納付金返還申出期日

2019年 3月29日（金） 17時まで

7. 選考方法

(1) 書類審査

(2) 口頭試問

※ 修士学位論文・研究計画書等に基づく個人面接。ただし、必要に応じて専門分野、外国語等についての能力検査を行う場合がある

※ 外国人留学生は、留学に係る経費負担計画書についての確認を含む

8. 試験会場

名古屋外国語大学（愛知県日進市岩崎町竹ノ山57）

9. 入学手続納付金

(1) 第1次入学手続納付金

入学金 100,000円

(2) 第2次入学手続納付金(2018年度入学者実績)

授業料(1期分) 382,500円(267,750円)

教育充実費(1期分) 95,000円

合計 477,500円(362,750円)

- ※ 名古屋外国語大学卒業生、名古屋外国語大学大学院博士前期課程修了生および本学学部研究生、本大学院研究生として在学した者は、入学金を免除する
- ※ 外国人留学生の授業料は、本学「私費外国人留学生の授業料減免に関する規程」により、授業料減免申請書を提出し、認められた場合30%減免される
減免後の金額は、()内の金額

(3) 納入方法

- ・入学手続締切日までに本学所定の振込用紙にて銀行等金融機関(ゆうちょ銀行不可)より納入すること
- ・入学手続納付金振込の際は、領収書および入学手続納付金振込証明書に銀行印があることを必ず確認すること

(4) その他

- ・入学手続納付金納入後、一両日中に第1次/第2次入学手続納付金振込証明書を本学大学院事務室に郵送すること

10. 入学辞退に伴う納付金一部返還

入学手続を完了した者で、入学手続納付金返還申出締切日までに入学辞退を届け出た者については、入学金を除いた学費(授業料、教育充実費)を返還する

II 受験についての諸注意

1. 試験日日程

9時00分～	9時45分	受験者控室入室
9時45分～	10時00分	諸連絡
10時00分～		口頭試験

2. 試験会場への交通機関

(1) 試験会場への交通機関

●交通案内図

●付近図

(2) 専用バス

- ・入学試験日当日は、地下鉄東山線「上社」駅および地下鉄鶴舞線「赤池」駅から大学専用バスを下表のとおり運行する
尚、当日の専用バスは受験票を提示することにより、無料で利用できる
ただし、途中乗車はできない
- ・受験生用専用バス時刻表

① 地下鉄東山線「上社」駅

② 地下鉄鶴舞線「赤池」駅

「上社」発車時刻	
時	分
8	00より10分間隔
9	00 10 20

「赤池」発車時刻	
時	分
8	20 40
9	00 20

・専用バス乗場

① 地下鉄東山線「上社」駅

北側バスターミナル

1 番乗車場

② 地下鉄鶴舞線「赤池」駅

1 番出入口北西側

中西学園専用バス乗車場

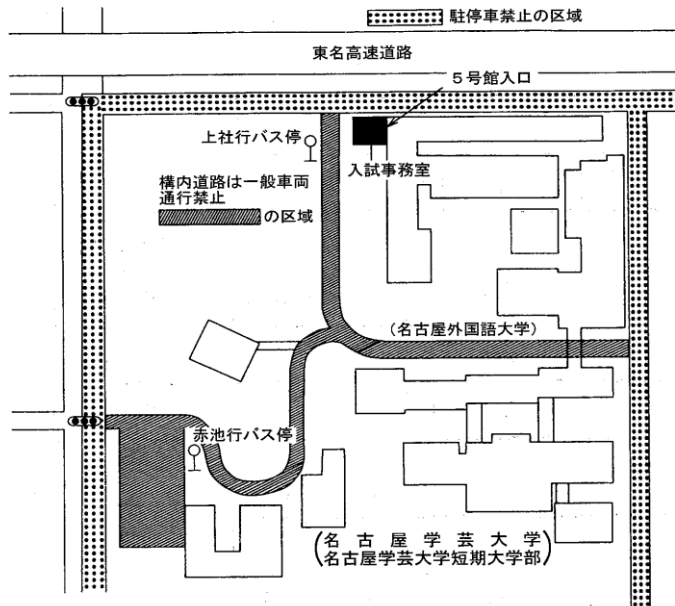
(3) その他

- ・帰宅用の大学発「上社」駅および「赤池」駅行の専用バスの発車時刻および乗車場所は、入学試験日当日に連絡する

3. 試験会場への入場

- ・試験会場は午前9時に開場する
- ・口頭試問は午前10時に開始するので、午前9時45分までに受験者控室に入室すること
- ・口頭試問開始15分前に、受験生の出席確認、顔写真の照合を行う
- ・午前10時30分(口頭試問開始後30分)以降の遅刻は認めない(受験資格の失効)

4. 試験会場案内図



5. その他

- ・受験票の未着、忘失の場合は、入学試験日当日に入試事務室にて仮受験票の発行を受けること
- ・試験会場内は禁煙である
- ・口頭試問時および口頭試問待機時は、必ず携帯電話・PHS等の電源を切ること

Ⅲ 学 費

1. 学 費（2018年度入学者実績）

この学費は2018年度入学者実績によるもので、2019年度入学者に対する費用は、合格者に送付する「入学手続きにあたって」で連絡する

1年次

(単位：円)

納 入 期	費 用			
	入 学 金	授 業 料	教育充実費	合 計
1 期	100,000	382,500 (267,750)	95,000	577,500 (462,750)
2 期		382,500 (267,750)	95,000	477,500 (362,750)
合 計	100,000	765,000 (535,500)	190,000	1,055,000 (825,500)

2年次

(単位：円)

納 入 期	費 用		
	授 業 料	教育充実費	合 計
1 期	382,500 (267,750)	95,000	477,500 (362,750)
2 期	382,500 (267,750)	95,000	477,500 (362,750)
合 計	765,000 (535,500)	190,000	955,000 (725,500)

3年次

(単位：円)

納 入 期	費 用		
	授 業 料	教育充実費	合 計
1 期	387,500 (271,250)	95,000	482,500 (366,250)
2 期	387,500 (271,250)	95,000	482,500 (366,250)
合 計	775,000 (542,500)	190,000	965,000 (732,500)

※ 入学金については、名古屋外国語大学卒業生、名古屋外国語大学大学院博士前期課程修了者および本学学部研究生、本大学院研究生として在学した者は免除する

※ 外国人留学生の授業料は、本学「私費外国人留学生の授業料減免に関する規程」により、授業料減免申請書を提出し、認められた場合30%減免される
減免後の金額は、() 内の金額

2. 納入方法

- ・ 入学金は第1次入学手続き時に、また、1年次1期分の授業料と教育充実費は第2次入学手続き時に、それぞれ本学指定振込用紙を使用し、銀行等金融機関（ゆうちょ銀行不可）より振込にて納入すること
- ・ 本学では、1年次2期以降の学費はすべて三菱UFJ銀行またはゆうちょ銀行からの引き落とし扱い（キャッシュレスシステム）であるため、入学手続き以降に三菱UFJ銀行またはゆうちょ銀行の口座を開設すること（既に口座のある場合は必要ない）
- ・ キャッシュレスシステムの指定口座等の手続きについては、入学手続き以降に連絡する
- ・ 引き落とし期日
2年次1期 4月 1日
1・2年次2期 9月16日
（ただし、金融機関が休業日の場合は、翌営業日の引き落としとなる）

3. 専用バス

- ・ 本学では、バス会社が運行する上社および赤池駅と大学間を結ぶ路線バスを大学の専用バスとして利用している
- ・ 専用バスの料金は、片道200円となる
- ・ 料金はバス会社の委託を受け、上記のキャッシュレスシステムを利用し、翌月徴収となる
- ・ 試験会場の下見および試験当日など入学前の来学時に専用バスを利用する場合は、付添者を含め無料となる

私費外国人留学生の学費・生活費等の経費について（預金残高の目安）

(1) 私費外国人留学生のための経済的支援

私費外国人留学生には下記の経済的支援がある

※対象となる私費外国人留学生とは、本大学院の正規の課程に在学し、出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者をいう

① 授業料の減免

本学規程に基づき授業料減免の許可を受けた者は、学費のうち授業料の 30%に相当する額が減免される

② 奨学金の給付 ※入学後奨学金を申請し、採用された者に給付される

- ・ 人物、学業ともに優秀で、かつ健康である者に給付される
- ・ 給付額は、1年次1期は入学金および授業料の合計の 50%相当額（ただし、入学金免除の場合はこれを除く）で、1年次2期以降は授業料の 50%相当額である
- ・ 採用は、前期課程在学期間中は2回、後期課程在学期間中は4回に限る

③ 宿舍費の補助

宿舍費の一部を負担する

※ただし宿舍は借り上げ宿舍に限る

(2) 学費・生活費の目安（1年次）

※次の学費・生活費の目安は、上記①、③の経済的支援を受けた場合のものである

(単位：円)

項目	必要費用予定額	備考
1 期	入学金	100,000 *入学時のみ
	授業料	267,750 *半年分 *私費外国人留学生の授業料による、 減免後の金額
	教育充実費	95,000 *半年分
	借り上げ宿舍費	231,000 *半年分 *水道料金を含む
	光電熱料金	60,000 *半年分
	食費	180,000 *半年分
	教科書購入費	30,000 *半年分
	生活必需品購入費	150,000 *半年分
	交通費	30,000 *半年分
	雑費	30,000 *半年分
1期小計	1,173,750 *半年分	
2 期	授業料	267,750 *半年分 *私費外国人留学生の授業料による、 減免後の金額
	教育充実費	95,000 *半年分
	借り上げ宿舍費	231,000 *半年分 *水道料金を含む
	光電熱料金	60,000 *半年分
	食費	180,000 *半年分
	教科書購入費	30,000 *半年分
	生活必需品購入費	150,000 *半年分
	交通費	30,000 *半年分
雑費	30,000 *半年分	
2期小計	1,073,750 *半年分	
合計	2,247,500 *1年分	

※入学金、学費（授業料、教育充実費）は2018年度入学者実績によるものです

※学費以外の項目については個人差があります

※借り上げ宿舍とは、海外等から入学する外国人留学生のために家賃の一部を大学が負担している宿舍です

(3) 預金残高の目安（出願時）

1年間の学費・生活費は約220万円以上がのぞましい